

第151回 教育研究評議会要録

日時 平成29年6月21日（水）午後1時00分～午後2時35分
場所 第一会議室
出席者 今岡学長，角田理事，小路田理事，藤原理事，井深理事，成瀬副学長，三成副学長，
吉村副学長，野村文学部長，林井理学部長，黒子生活環境学部長，
高田人間文化研究科長，内田，中山，小林，春本，久保，棚瀬，三木各評議員
欠席者 松岡評議員
列席者 酒居監事，福田監事，岩阪事務局次長／総務・企画課長，太田情報管理活用監，
桑原国際課長，乾研究協力課長，西田財務課長，西施設企画課長，木下学務課長，
中窪学生生活課長，矢野学術情報課長

議事に先立ち，前回の記録確認。

I 審議事項

1. 学内諸規程等の制定等について

(1) 奈良女子大学授業料免除及び徴収猶予選考基準の一部改正について

角田理事から，資料1により説明があり，審議の結果，原案のとおり承認し，本日付けで実施し，平成29年4月1日付けで適用することとした。

2. 平成28事業年度に係る業務の実績報告書について

小路田理事から，資料2による説明の後，6月末の提出期日に向けての作業において，今後軽微な文言修正があれば学長に一任することとして承認願いたいとの発言があり，審議の結果，これを承認し，経営協議会及び役員会へ付議することとした。

3. ハラスメントの防止等のためのガイドライン制定について

三成副学長から，資料3により説明があり，審議の結果，原案のとおり承認した。なお，副学長決裁をもって制定するとの説明があった。

4. その他

特になし

II 報告事項

1. 第196回役員会について

学長から，5月25日に開催された第196回役員会の審議概要について，資料4により報告があった。

2. 国立大学協会通常総会等の報告について

学長から、資料5-1により6月14日に開催された国大協通常総会、資料5-2により6月15日に開催された学長・機構長会議の審議概要等についての報告と、国立大学を取り巻く状況についての情報提供があった。

3. 国立大学法人及び大学共同利用機関法人の第2期中期目標期間評価について

小路田理事から、資料6-1により本学の評価結果について説明があり、教育研究等の質の向上の状況については「おおむね良好」3項目、業務運営・財務内容等の状況の評価については「非常に優れている」1項目、「良好」3項目となった旨、報告があった。続いて、資料6-2及び6-3により他大学も含めた評価結果の概要について説明があり、これらを参考にした結果、本学のFDへの取組みなどについて、体制を強化する必要があるとの発言があった。

4. インシデント発生時等の連絡網について

藤原理事から、資料7により、監事からの意見等を受け、緊急事態により迅速に対応できるよう、事務処理用として各連絡先に担当者氏名・内線番号を加えたとの報告があり、緊急時の対応について引き続いての協力依頼があった。

5. 卓越大学院構想及び研究拠点構想について

小路田理事から、いずれも本学が選択した重点支援②に関する重要な戦略と位置付けているとの発言の後、構想概要について説明があった。

教育プログラムである卓越大学院構想は、「経済財政運営と改革の基本方針2017（骨太の方針）」で教育の質の向上のための取組みとして明記されており、国の重要な施策である位置付けであること、学内の準備状況として現在WGで案を構想し、「文化工学」を切り口に産業界や他大学と連携して推進する方向性を模索しており、7月26日に文部科学省に事前説明に行く予定であることについて、資料8により説明があった。

研究プログラムである研究拠点構想は、既存の共生科学研究センター、古代学学術研究センター及び文学部なら学プロジェクトの研究分野を融合させ、アジア・ジェンダー文化学研究センターの助言も得つつ「大和・紀伊半島研究センター（仮称）」を設立し、さらには全国の大学が利用できる文部科学省の共同利用・共同研究拠点化を目指したいとの説明があった。

卓越大学院構想に関し、①「荘園」や「再首都化」といったスローガンとして使用している単語について、一般的な概念も踏まえて妥当であるか再検討する必要がある、②現在進行している大学院改組のスケジュールや作業との調整の必要性、③「他の」女子大学との協力関係のあり方等について意見交換や質問があった。大学院博士後期課程改組にあたっては、卓越大学院による副専攻プログラムも念頭に置いて議論する必要があることを確認した。

6. 奈良女子大学と県内企業との交流会（仮称）の開催について

成瀬副学長から、資料9により、標記交流会の概略及び準備スケジュールについて説明があり、各部局等への協力依頼があった。

7. 各室等からの報告について

男女共同参画推進機構：

藤原理事から、4月下旬に提出した科学技術振興機構のダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ公募申請に関し、6月6日に一次審査通過の連絡があり、6月28日にヒアリング審査予定との報告があった。

8. その他

(1) 教職員及び学生の交流会について

藤原理事から、例年全学構内清掃後に実施している「教職員及び学生の交流会」について、今年度も7月18日（火）に実施するため、評議員への実施協力依頼とともに、詳細は改めて案内予定であるが、教職員及び学生の多数の参加について周知依頼があった。

以上